

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県産アサクサノリ種 陸上採苗実施 － 9月28日(木)～29日(金) 伊曾島漁協にて－

9月28日(木)～29日(金)、伊曾島漁協において、平成29年度漁期の三重県産アサクサノリ種の陸上採苗が行われ、今年度も無事に作業を終えた。

アサクサノリ種の養殖試験は平成25年度から開始され、今年度で5年目となり、今年は20名の生産者がアサクサノリ養殖に取り組む予定である。

昨年度(平成28年度)漁期では、「伊勢あさくさ海苔®」として281,700枚が共販に出荷され、その中でも伊曾島産の浅重優上等級の海苔は100枚あたり17,000円の価格で落札された。これは、昨年度漁期の全国海苔共販の中でも最高値を記録し、大きな話題となった。

また、三重県内では9月下旬から黒のり(スサビノリ)の陸上採苗が順次開始されており、今年度も順調に種付けを行い、現在は水温の低下を待ちながら海苔網の張り込み準備に取り掛かっている。



協同組合シンポジウム

－9月27日(水)「協同組合と地域貢献」－

9月27日(水)、津市の三重県勤労者福祉会館において、協同組合シンポジウムが開催された。

冒頭に三重県生活協同組合連合会 会長理事 上野達彦氏より挨拶があり、三重大学 人文学部の青木雅生 准教授から、今年度の問題提起として「協同組合と地域貢献」を議題とした基調講演が行われた後、青木准教授がコーディネーターとなり、三重県漁業協同組合連合会、三重県農業協同組合中央会、三重県労働者福祉協議会、三重県中小企業団体中央会、みえ医療福祉生活協同組合から各1名ずつ計5名がパネリストとなり、地域との連携、交流、支援事業等、地域貢献をテーマとしたパネルディスカッションが行われた。



おさかな料理コンクール 三重大会
 - 9月28日(木) アスト津にて -

9月28日(木)、津市のアスト津にて、平成29年度おさかな料理コンクールが開催された。

三重県水産物消費拡大促進協議会(湯浅雅人会長)が主催する同コンクールは、三重県産の水産物を主材料とした新しい料理の創作とそのレシピの普及を目的として毎年開催しているもので、今年のテーマは「給食でたのしむワンプレート」の題材で審査が行われた。

審査の結果、最も評価の高い作品に贈られる三重県知事賞には、三重県立相可高等学校3年生の長田実季さんの「鯛のフライ/クスクスジェノベーゼ」が選ばれ、全国おさかな料理コンクールに推薦されることになった。また、賞品として9月に漁解禁となったばかりの伊勢海老が贈られました。

なお、今コンクールにおいて見事受賞された料理は三重県漁連のホームページにて10月中に公開予定ですのでぜひご覧ください。



「鯛のフライ/クスクスジェノベーゼ」相可高校 長田実季さん

第 39 回三重県海の子作品審査会
 -10月6日(金)津市にて開催-

10月6日(金)、「第39回三重県海の子作品展審査会」が津市内で行われた。

この作品展は、県下沿海地区市町の小中学生を対象に、海・漁業・漁村に関する題材の美術作品を募り、海を愛する心を育て、漁業に対する理解を深め、漁業後継者の育成を図ることを目的としている。今年は39回目の開催となり、小・中学生の部合わせて387点の作品が審査に臨んだ。厳正な審査の結果、最優秀賞の三重県知事賞には【小学校の部】尾鷲市立尾鷲小学校6年生 山口優菜さん、【中学校の部】尾鷲市立尾鷲中学校1年生 岡ももこさんの作品が選ばれた。

なお、上位入賞作品(小学校の部6点、中学校の部4点)については全国展へ推薦され、入賞作品は三重漁連のホームページにて近日公開予定です。



「ハラソ祭り」尾鷲小学校 山口優菜さん



「香ばしい匂いの小サバあぶり作り」尾鷲中学校 岡ももこさん

【主な予定】

- 10月27日(金)～28日(土)
リーディング産業展(四日市ドーム)
- 10月28日(土)
森林整備活動(岐阜県白川町)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします